

ひるば

敷居の低い癒しの場としての病院をめざして

発行 地域連携室

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇838番地

TEL 078-967-1202(代表)

FAX 078-967-3626

URL <http://www.tohokai.jp/>

Email office@tohokai.jp

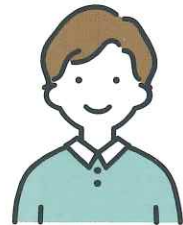
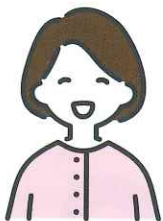
2023年
3月号
第166号



新しいグループホームがオープンしました!

令和4年12月15日にオープンした新グループホームの名前は「ホームつながり」です。定員は9名。24時間スタッフ常駐体制で、すぐに困り事や心配事を身近なスタッフに相談でき、安心して生活できるホームです。当法人にはグループホームが7カ所(43室)あり、24時間体制のホームは4ヶ所目になります。

従来のホームとの最大の違いは、自分一人の空間や時間をこれまで以上に保証できることです。例えばリビングはあえて無くし、食事をご自身のお部屋で食べていただくようにしています。和気あいあいとした空気が苦手な方や、人とのかわりが得意でない方でも、安心して自分らしく暮らせることが新ホームのコンセプトです。自分のペースを大切にしながら、それでもその方なりに「つながり」を感じることができる。一人暮らしに必要な知識や経験を身に付けながら、いろいろな人や支援、機関と「つなが」っていける。そして、ホームを卒業された後も得られた「つながり」を大切にしていってもらえれば…。そんな思いでこれから支援を行っていきます。詳しくは、グループホーム担当者へお問い合わせ下さい!



地域の医療機関・クリニックと繋がる ～かもめクリニックご紹介～



かもめクリニック院長
朴 孝貴 先生

趣味

水泳

略歴

H12年 神戸大学医学部卒業
H12年～14年 県立尼崎病院
H14年～15年 神戸大学医学部附属病院
H15年～17年 神戸市立医療センター西市民病院
H17年～R4年 医療法人社団東峰会関西青少年サナトリウム
R5年 医療法人社団かもめクリニック 院長

長い間、関西青少年サナトリウムで勤務してきましたが、ご縁があり、今年からかもめクリニックの院長を務めさせていただくことになりました。かもめクリニックは昭和53年に開設された歴史あるクリニックで、明石駅から徒歩で7分、海のそばにあります。

たくさんの患者さんが通っておられ、中には長く治療を続けてこられている患者さんもおられます。まずはこれまで治療を続けておられる患者さんが引き続き安心して治療を続けられるように、聞きたいことを遠慮なく聞けるように、お話ししやすい雰囲気診察していこうと思っています。そして、しんどい思いをして日常生活を送っておられる患者さんが、疎外されていやな思いをしないように、人として尊重されるように、そういう接し方をスタッフともども心がけていきたいと思っています。

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	×	○	○	○	×
午後 15:00～18:30	○	○	×	○	○	×	×

休診日：水曜、土曜午後、日曜、祝日

非常勤医：今村先生

鬼頭先生(関西青少年サナトリウム)

狩場先生(関西青少年サナトリウム)



〒673-0892
明石市本町2丁目5-13
TEL: 078-911-1645



このように当院では地域の医療機関の方々と連携しながら患者さんの支援を行っています。

今後も連携を強化し、地域医療に貢献していけるよう尽力してまいります。



地域の医療機関・行政機関・施設対象

受診入院相談専門ダイヤル

078-969-1625

※ご本人、ご家族からのお電話はこれまで通り、つながりやすい代表電話におかけください。

「訪問診療を開始するにあたり心がけていること」

精神科のお医者さんに
聞きました

こんにちは。訪問診療を担当している西村暢宏です。今回は、訪問診療を開始するにあたって私たちが心がけていることについてお話ししたいと思います。

当院の訪問診療では、対象地域を半径10km以内かつ車で30分以内とし、主に統合失調症や気分障害が疑われ、未治療、治療中断となっている方を対象者としています。こういった方は、自らの精神的不調ゆえに社会とのつながりが途切れていることや、自分の持ち味を発揮できなくなっているという自覚が乏しくなっています。そうした方が、精神的不調の改善によって再び社会とつながりを持ち、自分の持ち味を発揮できるようになるためのお手伝いをする、つまり精神科的な治療の開始とリハビリテーションの導入を目的に当院は訪問診療という医療を提供しています。

普段は意識されることはあまりありませんが、医療は強固な社会制度として存在しています。医療は、病を治療するという側面を持ちつつも、社会制度であるがゆえに、その制度に合わせることを個人に要求するある種の強制力を持っています。心身の不調に対して病名を与え、治療を施しますが、個人はそれに従うことを要求されます。精神的不調に対する自覚がない人は、そもそも医療の必要性を感じておらず、またこういった医療の持つある種の強制力を感じ取り、医療に対して「私は病気ではありません」と抵抗、拒絶を示すこととなります。

こうしたことが前提としてあるため、初回の訪問診療では、医療がある種の強制力を持っていることを私たちが自覚し、ご本人の精神面や生活にずかずかと無神経に踏み込んでいかないように注意を払いながら、ご本人に接するようにしています。

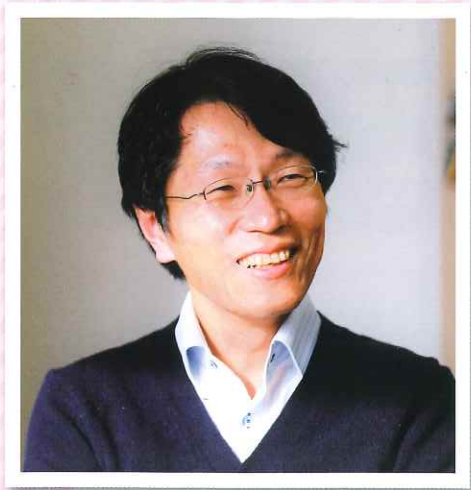
何とか2回目以降の訪問診療が続けられるようになった後でも、訪問診療として生活に入ってくる医療は、ご本人からすると、依然として自分とは全く無縁のものであるとか、自分を病人に仕立て上げようとしているものと感じられることでしょう。訪問診療は再び社会とのつながりを持ってもらうための端緒となる場面だけに、それ以降も繊細に関係づくりを進めるようにしています。

このように、訪問診療を開始するにあたって、医療の持つある種の強制力を自覚しつつ、その強制力を働かせないように関係作りを開始し、ともすれば途切れそうになる関係を繊細に保ち続けることを私たちは心がけています。



医局 地域支援担当副部長 西村 暢宏

お医者さんを紹介します



ないとう けんいち

内藤 憲一 先生

出身：神戸市

趣味：ランニング、サックス



仕事をしていてどんなところにやりがいを感じますか？

具合の悪い患者さんが良くなっていくのを見て、自分がいくばくか関わっていること、患者さんの役に立てていることにやりがいを感じます。

この仕事についてよかったことは？

色々失敗もありますが、自分の経験を活かして患者さんの役に立てることです。自分一人ですることは限られているので、他の人と力を合わせてやっていけるのがいいなと思っています。

みなさんに一言どうぞ

まだまだ頑張りますので、よろしくお願いします。

外来担当医のご案内

外来再診担当医

受付時間 8:50 ~ 15:00 ※2023年4月より変更の可能性あり。

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15~12:00	狩場 9:40~	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00~16:50	大崎	西村	岡本	瀬川14:00~15:00 高尾	頼 赤堀	—

初診外来・入院 担当医

曜日別に下記の常勤医師を中心に、上記の外来再診担当医以外の医師が診察します（順不同） ※2023年4月より変更の可能性あり。

月	火	水	木	金	土
高尾	赤堀	石橋	吉田	石橋	当番医①
岡本	内藤	橋本	狩場	橋本	当番医②
石橋	吉田	大崎	佐伯	岡本	当番医③
赤堀	石橋	頼	橋本	吉田	

専門外来担当医のご案内

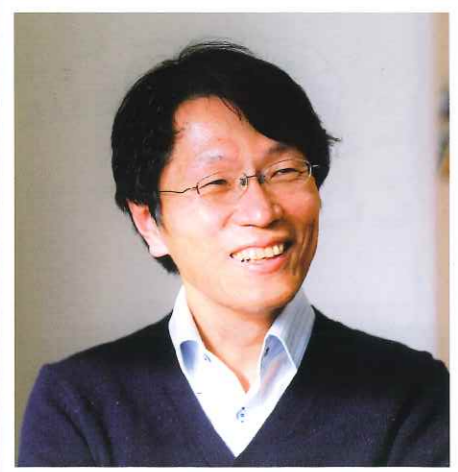
☆< 児童思春期外来 > 毎週月曜午後 **完全予約制** (担当：内藤医師)

☆< 発達障害専門外来 > 第3金曜午後（月1回） **完全予約制** (担当：上月医師)

☆< 高齢者外来 > 毎週火曜午後 **完全予約制** (担当：阪井医師) **令和5年3月から開始！**

編集後記

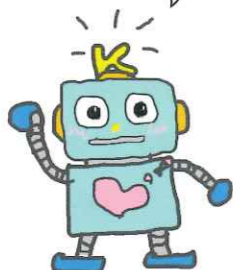
正月が過ぎ、早いものでもう年度末の3月です。昨年9月に産まれた我が子もあっという間に生後6か月を迎え、成長の早さを日々感じます。私は11月から広報誌「ひろば」の編集委員に加わりました。これからも関西青少年サナトリウムの温かい雰囲気や役立つ情報を皆様にお届けできるよう頑張っていきたいと思っております。
(病棟看護師：恒雄大)



ないとう けんいち
内藤 憲一 先生

出身：神戸市
趣味：ランニング、サックス

お医者さんを紹介します



仕事をしていてどんなところに
やりがいを感じますか？

具合の悪い患者さんが良くなっていくのを見て、自分がいくばくか関わっていること、患者さんの役に立てていることにやりがいを感じます。

この仕事についてよかったことは？

色々失敗もありますが、自分の経験を活かして患者さんの役に立てることです。自分一人では限られているので、他の人と力を合わせてやっていけるのがいいなと思っています。

みなさんに一言どうぞ

まだまだ頑張りますので、よろしくお願いします。

外来担当医のご案内

外来再診担当医 受付時間 8:50 ~ 15:00 ※2023年4月より変更の可能性あり。

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15~12:00	狩場 9:40~	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00~16:50	大崎	西村	岡本	瀬川14:00~15:00 高尾	頼 赤堀	—

初診外来・入院 担当医 曜日別に下記の常勤医師を中心に、上記の外来再診担当医以外の医師が診察します(順不同) ※2023年4月より変更の可能性あり。

月	火	水	木	金	土
高尾	赤堀	石橋	吉田	石橋	当番医①
岡本	内藤	橋本	狩場	橋本	当番医②
石橋	吉田	大崎	佐伯	岡本	当番医③
赤堀	石橋	頼	橋本	吉田	

専門外来担当医のご案内

- ☆ < 児童思春期外来 > 毎週月曜午後 **完全予約制** (担当：内藤医師)
- ☆ < 発達障害専門外来 > 第3金曜午後(月1回) **完全予約制** (担当：上月医師)
- ☆ < 高齢者外来 > 毎週火曜午後 **完全予約制** (担当：阪井医師) **令和5年3月から開始!**

編集後記

正月が過ぎ、早いものでもう年度末の3月です。昨年の9月に産まれた我が子もあっという間に生後6か月を迎え、成長の早さを日々感じます。私は11月から広報誌「ひろば」の編集委員に変わりました。これからも関西青少年サナトリウムの温かい雰囲気や役立つ情報を皆様にお届けできるよう頑張っていきたいと思っております。
(病棟看護師：恒雄大)

医療法人社団 東峰会
関西青少年サナトリウム

ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

発行 地域連携室

2023年
3月号
第166号

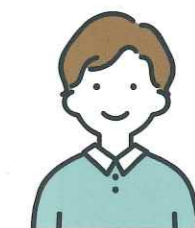
〒651-2403
神戸市西区岩岡町西脇838番地
TEL 078-967-1202(代表)
FAX 078-967-3626
URL <http://www.tohokai.jp/>
Email office@tohokai.jp



新しいグループホームがオープンしました!

令和4年12月15日にオープンした新グループホームの名前は「ホームつながり」です。定員は9名。24時間スタッフ常駐体制で、すぐに困り事や心配事を身近なスタッフに相談でき、安心して生活できるホームです。当法人にはグループホームが7カ所(43室)あり、24時間体制のホームは4ヶ所目になります。

従来のホームとの最大の違いは、自分一人の空間や時間をこれまで以上に保証できることです。例えばリビングはあえて無くし、食事はご自身のお部屋で食べていただくようにしています。和気あいあいとした空気が苦手な方や、人とかかわりが得意でない方でも、安心して自分らしく暮らせることが新ホームのコンセプトです。自分のペースを大切にしながら、それでもその方なりに「つながり」を感じることができる。一人暮らしに必要な知識や経験を身に付けながら、いろいろな人や支援、機関と「つなが」っていきける。そして、ホームを卒業された後も得られた「つながり」を大切にしていってもらえれば…。そんな思いでこれから支援を行っていきます。詳しくは、グループホーム担当者へお問い合わせ下さい!



地域の医療機関・クリニックと繋がる ～かもめクリニックご紹介～



かもめクリニック院長
朴 孝貴 先生

趣味

水泳

略歴

H12年 神戸大学医学部卒業
H12年～14年 県立尼崎病院
H14年～15年 神戸大学医学部附属病院
H15年～17年 神戸市立医療センター西市民病院
H17年～R4年 医療法人社団東峰会関西青少年サナトリウム
R5年 医療法人社団かもめクリニック 院長

長い間、関西青少年サナトリウムで勤務してきましたが、ご縁があり、今年からかもめクリニックの院長を務めさせていただくことになりました。かもめクリニックは昭和53年に開設された歴史あるクリニックで、明石駅から徒歩で7分、海のそばにあります。

たくさんの患者さんが通っておられ、中には長く治療を続けてこられている患者さんもおられます。まずはこれまで治療を続けておられる患者さんが引き続き安心して治療を続けられるように、聞きたいことを遠慮なく聞けるように、お話ししやすい雰囲気でご診察していこうと思っています。そして、しんどい思いをして日常生活を送っておられる患者さんが、疎外されていやな思いをしないように、人として尊重されるように、そういう接し方をスタッフともども心がけていきたいと思っています。

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	×	○	○	○	×
午後 15:00～18:30	○	○	×	○	○	×	×

休診日：水曜、土曜午後、日曜、祝日

非常勤医：今村先生

鬼頭先生（関西青少年サナトリウム）

狩場先生（関西青少年サナトリウム）



〒673-0892
明石市本町2丁目5-13
TEL: 078-911-1645



このように当院では地域の医療機関の方々と連携しながら患者さんの支援を行っています。

今後も連携を強化し、地域医療に貢献していけるよう尽力してまいります。



地域の医療機関・行政機関・施設対象

受診入院相談専門ダイヤル **078-969-1625**

※ご本人、ご家族からのお電話はこれまで通り、つながりやすい代表電話におかけください。

健康一口メモ コラム

「訪問診療を開始するにあたり心がけていること」

精神科のお医者さんに
聞きました

こんにちは。訪問診療を担当している西村暢宏です。今回は、訪問診療を開始するにあたって私たちが心がけていることについてお話ししたいと思います。

当院の訪問診療では、対象地域を半径10km以内かつ車で30分以内とし、主に統合失調症や気分障害が疑われ、未治療、治療中断となっている方を対象者としています。こういった方は、自らの精神的不調ゆえに社会とのつながりが途切れていることや、自分の持ち味を発揮できなくなっているという自覚が乏しくなっています。そうした方が、精神的不調の改善によって再び社会とつながりを持ち、自分の持ち味を発揮できるようになるためのお手伝いをする、つまり精神科的な治療の開始とリハビリテーションの導入を目的に当院は訪問診療という医療を提供しています。

普段は意識されることはあまりありませんが、医療は強固な社会制度として存在しています。医療は、病を治療するという側面を持ちつつも、社会制度であるがゆえに、その制度に合わせることを個人に要求するある種の強制力を持っています。心身の不調に対して病名を与え、治療を施しますが、個人はそれに従うことを要求されます。精神的不調に対する自覚がない人は、そもそも医療の必要性を感じておらず、またこういった医療の持つある種の強制力を感じ取り、医療に対して「私は病気ではありません」と抵抗、拒絶を示すこととなります。

こうしたことが前提としてあるため、初回の訪問診療では、医療がある種の強制力を持っていることを私たちが自覚し、ご本人の精神面や生活にすかさずと無神経に踏み込んでいけないように注意を払いながら、ご本人に接するようにしています。

何とか2回目以降の訪問診療が続けられるようになった後でも、訪問診療として生活に入ってくる医療は、ご本人からすると、依然として自分とは全く無縁のものであるとか、自分を病人に仕立て上げようとしているものと感じられることでしょう。訪問診療は再び社会とのつながりを持ってもらうための端緒となる場面だけに、それ以降も繊細に関係づくりを進めるようにしています。

このように、訪問診療を開始するにあたって、医療の持つある種の強制力を自覚しつつ、その強制力を働かせないように関係作りを開始し、ともすれば途切れそうになる関係を繊細に保ち続けることを私たちは心がけています。



医局 地域支援担当副部長 西村 暢宏